

第 55 回学術講演会(ファジィフロント)のお知らせ

テーマ「身体知の科学: 技能継承の支援を目指して」

近年、2007 年問題といった就業者構造の変化と相まって、これまでベテラン従事者のノウハウに支えられてきた業務形態の存続が危ぶまれています。言語で表現できないノウハウまで含んだ技能の継承を I T 技術を活用して支援することが、極めて重要な課題となっています。

日本知能情報ファジィ学会では、様々な分野の熟練者の技能を計測し、工学・認知科学的な側面から分析するという新しい研究分野の草分けの一人である藤波努先生（北陸先端科学技術大）を迎え、講演会を開催致します。様々な身近な題材を通じ、普段は認知心理学に馴染みの薄い技術者の方でも興味を持てるお話を頂けることと思います。

どなたでもご自由に参加できますので、当日直接会場までお越し下さい。

記

【主催】日本知能情報ファジィ学会 関東支部

【共催】日本大学大学院理工学研究科 情報科学専攻

【講演者】藤波努 氏 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科 助教授

藤波先生の HP : <http://www.jaist.ac.jp/~fuji/index.html>

【日時】平成 18 年 10 月 14 日(土) 14:00 - 15:30

【場所】日本大学理工学部 駿河台キャンパス 1 号館 3 階 1 3 3 室

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

JR 総武線・中央線 御茶ノ水駅、

地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅 下車徒歩 3 分

会場案内図 : <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/guide/surugada.html>

【参加費】無料（ただし資料代実費のご負担をお願いする場合があります）

【講演要旨】

認知科学や人工知能では、人間の知的な振る舞いを「身体」という視点から研究するアプローチが注目されています。私たちは体験を通して覚える知識を身体知と呼び、スポーツや楽器演奏などを題材として熟練者と初心者の動きの違いを研究しています。身体知を明らかにすることにより、技能の伝達や教授が効果的に行われるようになると期待しています。本講演では、陶芸の土練りやサンバの演奏やダンスなど、これまでに私たちが取り組んできた題材をご紹介します。身体知とは何か、どのようなアプローチが可能なかを議論したいと考えております。

【問合せ先】愛須英之 ((株)東芝 研究開発センター) hideyuki.aisu@toshiba.co.jp